

「第2次北九州市生物多様性戦略（2015年度-2024年度）」の進捗状況について

○基本目標の進捗状況（平成27年度）

基本目標1 自然とのふれあいを通じた生物多様性の重要性の市民への浸透

（1）数値目標の進捗状況

	項目	目標値（年度）	平成27年度実績
1	本市が取り組む環境学習プログラムとしてのエコツアー参加人数	6,500人（2020）	5,697人
2	響灘ビオトープのガイドツアー参加人数	4,000人（2020）	4,548人
3	自然体感ツアーの参加人数	500人（2019累計）	73人（累計）

（2）方向性ごとの主な施策の進捗状況

方向性1 自然環境にふれあう機会の創出（施策数：7）

- ・ 「エコツアー（自然観察講座）」では、日本カブトガニを守る会福岡支部の協力でカブトガニ産卵観察エコツアーを夏に開催、自然とふれあう機会を提供。
- ・ 「エコツーリズム、グリーンツーリズム等の促進」では、北九州環境みらい学習システム“ドコエコ！”ホームページの改修・充実を通じた情報発信を実施。

方向性2 農林水産業の活性化と地産地消を通じたふれあいの推進（施策数：9）

- ・ 「農業の振興」では、新規就農研修及び認定農業者の経営診断・経営改善指導を実施。また、農業生産振興対策として、農業機械及び栽培施設（ハウス）導入に対して支援を行うとともに、農産物の生産・出荷・流通対策に対しての支援を実施。
- ・ 「森林・林業の活性化」では、福岡県森林環境税を活用して、荒廃したスギ・ヒノキの人工林の間伐（139ha）や侵入竹の除去（7ha）を実施。
- ・ 「「里海づくり」による水産業の振興」では、漁業者らが藻場等の環境保全活動を実施。また、平松よかタコまつり（漁業体験等）やかき焼きまつりを開催。
- ・ 「地産地消の推進」では、農林水産業への理解を深めてもらうことを目的として、「北九州市農林水産まつり」や「豊前海一粒かき」のかき焼きまつりを開催。

方向性3 里地里山の利用と活用（施策数：3）

- ・ 「里地里山の持続的な利用」では、小倉南区の中谷地区まちづくり協議会がまちおこしの一環として開催した「漬物コンクール」に約200名が参加。

（3）環境局による基本目標1の進捗状況評価

方向性ごとの主な施策の進捗状況は内容に応じた取り組みが推進されているものの、数値目標については一部進捗に遅れがある。よって、**基本目標の達成に向けた施策の強化が必要**。

基本目標2 地球規模の視野を持って行動できるような高い市民環境力の醸成

(1) 数値目標の進捗状況

	項目	目標値(年度)	平成27年度実績
1	小学生の環境体験科における響灘ビオトープ活用数	25校(2020)	29校
2	響灘ビオトープのガイドツアー参加人数【再掲】	4,000人(2020)	4,548人

(2) 方向性ごとの主な施策の進捗状況

方向性1 環境教育・学習の推進、普及啓発(施策数:5)

- ・ 「学校教育における自然環境に視点を当てた教育の推進」では、市内の全小学校4年生を対象にした「環境アクティブ・ラーニング」を実施し、市内の自然にふれることのできる施設や環境関連施設を訪れ、環境体験学習を実施。また、特色ある環境教育などを推進する15の小・中学校を「北九州市ユネスコスクール推進指定校」に指定。
- ・ 「洞海湾における環境修復体験事業」では、洞海湾周辺の小学校(戸畑区牧山小、若松区修多羅小)を対象として「ムラサキイガイを用いた洞海湾の環境修復体験教室」を実施。(内容:マイロープ吊り下げ、中間観察会、マイロープ引き揚げ・堆肥化)
- ・ 「農業体験を通じた食農教育の推進」では田植えや稲刈りなどの農作業体験、子供たち自身によるバケツ稲の栽培などの農業体験学習を開催。

方向性2 自然環境に精通した人材の育成(施策数:3)

- ・ 「ほたるのふるさとづくり」では、市民を対象として、ホテルや水辺環境について学ぶ学習会「ほたると水辺の環境学習会」を年8回開催。
- ・ 「自然環境サポーター育成事業」では、新たな人材育成の方法について自然ネットで検討を開始。

(3) 環境局による基本目標2の進捗状況評価

数値目標についてはおおむね目標を達成しており順調に進捗している。方向性ごとの主な施策の進捗状況についても内容に応じた取り組みが推進されている。そのため、**基本目標の達成に向け順調に進捗している。**

基本目標 3 自然環境の適切な保全による、森・里・川・海などがもつ多様な機能の発揮

(1) 数値目標の進捗状況

	項目	目標値 (年度)	平成 27 年度実績
1	自然環境保全に取り組む団体への支援件数	10 件 (2024)	10 件
2	「北九州市自然環境保全ネットワークの会」参加団体等が開催する自然環境保全活動参加者数	約 2,000 人 (2024)	約 2,000 人

(2) 方向性ごとの主な施策の進捗状況

方向性 1 生態系ネットワークの形成 (施策数：6)

- ・ 「森林の保全」では、市営林の管理 (下刈り 0.25ha、間伐 0.45ha) を実施。また、市民に対し竹等粉碎機の貸出や竹林整備のための講習会を開催。
- ・ 「河川環境の保全」では、水際の植生や自然な流れの復元などにより、生物の生息・生育環境に配慮した整備を行うことでホタルの飛翔や緑の増加など、身近に自然を感じる「水辺環境整備事業」を推進。
- ・ 「自然海岸等の保全」では、若松区岩屋海岸・脇田海岸、門司区門司港レトロ地区、八幡東区八幡東田緑地などで、みなとや海辺で活動する市民団体が海岸清掃や花植えなどの活動を実施。また、市はこれらの活動に対し助成金を交付し活動を支援。

方向性 2 地域固有の生態系の保全と利用 (施策数：2)

- ・ 「曾根干潟の保全と利用」では、曾根干潟保全連絡会議を開催し、地元関係者、学識経験者、行政で曾根干潟の保全について意見交換を実施。
- ・ 「平尾台の保全と利用」では、平尾台自然の郷で各種イベントを開催し、適切な利活用や広報を実施。

方向性 3 希少種の保全及び外来種の対策 (施策数：4)

- ・ 「特定種に対する保護・保全対策の検討」では、市民、NPO、行政等で連携して希少な水草であるガシャモクの保全及び広報を実施。
- ・ 「外来種に対する体制づくり」では、平成 27 年 8 月に特定外来生物の「ツマアカスズメバチ」の営巣が確認されたため、環境省九州地方環境事務所と連携して営巣状況の調査を実施。

(3) 環境局による基本目標 3 の進捗状況評価

数値目標についてはおおむね目標を達成しており順調に進捗している。方向性ごとの主な施策の進捗状況についても内容に応じた取り組みが推進されている。そのため、**基本目標の達成に向け順調に進捗している。**

基本目標 4 人と自然の関係を見直し、自然から多くの恵みを感じることができる状態の維持

(1) 数値目標の進捗状況

	項目	目標値 (年度)	平成 27 年度実績
1	環境首都 100 万本植樹プロジェクトによる植樹本数	1,000,000 本 (2024 累計)	657,903 本 (累計)
2	市街地 (市街化区域) の緑の確保	9.5% (2020 累計)	8.2% (累計)

(2) 方向性ごとの主な施策の進捗状況

方向性 1 自然と調和した都市基盤整備の促進 (施策数 : 10)

- ・ 「都市緑化の推進」では、工場緑地及び工場緑化協定、都市公園の整備、市民協働による緑化や管理を通じて都市の緑化を推進。
- ・ 「清流の復活と豊かな水辺環境の創造」では、板櫃川遊歩道の整備など、市民の潤いと憩いの場として活用するとともに生物の生息・育成空間を保全することで親しみのある河川を取り戻す環境整備を実施。
- ・ 「人と野鳥が共存する環境づくり」では、日本野鳥の会北九州と協働で、響灘ビオトープにおいて、コアジサシ (環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類) の繁殖を目的とした砂礫地の除草等を実施。

方向性 2 事業の実施に伴う環境配慮 (施策数 : 5)

- ・ 「環境影響評価制度に基づく環境配慮」では、法対象案件の準備書 1 件、条例対象案件の配慮書 2 件、方法書 2 件、準備書 2 件の審査を実施。
- ・ 「北九州市環境配慮指針の活用推進」では、33 件の公共事業について点検を実施。
- ・ 「自然環境アドバイザー制度による支援」では、平成 27 年度の支援はなかった。

(3) 環境局による基本目標 4 の進捗状況評価

数値目標についてはおおむね目標を達成しており順調に進捗している。方向性ごとの主な施策の進捗状況についても内容に応じた取り組みが推進されている。そのため、**基本目標の達成に向け順調に進捗している。**

基本目標5 自然環境調査を通じて情報を収集、整理、蓄積し、保全対策などでの活用

(1) 数値目標の進捗状況

	項目	目標値(年度)	平成27年度実績
1	ベッコウトンボ市民調査実施回数	3回(2020)	3回
2	曾根干潟における生物調査の実施	4回(2020)	7回

(2) 方向性ごとの主な施策の進捗状況

方向性1 自然環境調査の実施とデータベースの構築(施策数:3)

- 「実態把握の推進」では、本市固有の生態系が維持されている曾根干潟を中心に本市による生物調査を実施。また、曾根干潟は環境省によってモニタリングサイト1000のコアサイト(シギ・チドリ)に指定されており、環境省による調査も実施。

方向性2 市民参加による自然環境情報の収集(施策数:3)

- 「市民参加による自然環境調査」では、響灘ビオトープでベッコウトンボの市民参加の調査を実施。3回でのべ119人の市民が参加。また、3回の調査でのべ約3,000頭のベッコウトンボを確認。

(3) 環境局による基本目標5の進捗状況評価

数値目標についてはおおむね目標を達成しており順調に進捗している。方向性ごとの主な施策の進捗状況についても内容に応じた取り組みが推進されている。そのため、**基本目標の達成に向け順調に進捗している。**